

家庭調査

(注意: ※欄は大学使用欄ですので、網掛け部分のみ記入してください。)

[様式K3]

学部

年 月 日
課程 年次

※	氏名 工織 太郎
学生番号 12345678	【連絡先電話番号 (携帯)】 (メールアドレス)

1. 家庭の状況等 (該当事項がある場合は、番号を○で囲み、必要な事項を記入してください。)

A. 災害の被災(年 月) 災害の種類()	F. 両親がいない
B. 主たる学資負担者が死亡した(年 月)	G. 母子・父子家庭である
C. 長期療養者がいる	H. 主たる学資負担者が単身赴任中である
D. 障害者がいる	I. 原子爆弾による被爆者の子である
E. 生活保護を受けている	

2. これまでの経済的理由による授業料減免実績 (修学支援新制度による減免を除く。直近の減免実績のみ記載すること)

※これまで経済的理由による授業料減免を受けたことが無い人は申請できません。

減免を受けた年度・学期	令和3 年度 前学期(春学期) 後学期(秋学期) ※いずれかを○で囲むこと。
減免結果	全額免除・半額免除 一部免除(免除額 円) ※いずれかを○で囲むこと。

3. 家族及び収入等(令和4年10月1日時点の状況を記入。金額は千円単位で記入。)

学生本人現住	〒000-0000 京都市左京区△△-△△	自宅・自宅外	家族住所	〒0000-0000 京都市右京区××	主に給与、年金収入は「給与収入」、その他所得は「給与以外収入」です。詳細は「申請要項」の「提出書類の記入について」の項目を参照してください。				
家族区分	続柄	氏名	年齢	住居	生計	収入等区分	賞与の有無	収入金額	
就学者以外	父	生別 (2019年5月)		同・別		家族住所に記載の住所への状況を記載してください。	有・無		
	母	工織 夏子	50	同・別			有・無	5000 千円 1300 千円	
	祖父	工織 一郎	75	同・別	同・別		有・無	800 千円 1000 千円	
	兄	工織 三郎	25	同・別	同・別		有・無	千円 千円	
	妹	工織 秋子	18	同・別	同・別		有・無	千円 千円	
就学者	本人	工織 太郎	20	国立	京都工芸繊維大学	3	自宅・自宅外	奨学金の名称・年額 独立生計者のみ	本人の収入金額 独立生計者のみ
	弟	工織 四郎	19	私立	松ヶ崎大学	2	自宅・自宅外	授業料免除状況: 無・全免・半免	
				立			自宅・自宅外	授業料免除状況: 無・全免・半免	
				立			自宅・自宅外	授業料免除状況: 無・全免・半免	

※	特別控除額	認定所得額
母子・父子・両親のいない世帯就学(小)(中)(高)		千円
家計支持者別居		千円
障害者等・長期療養者		千円
災害等()		千円
父母配偶者以外の所得		千円
自宅・自宅外	千円	(人) 基準額 半 千円
計	千円	全 千円

詳細は「申請要項」の「提出書類の記入について」の項目を参照して正しく記入してください。

4. 本人の学資状況 (1か月平均) ※独立生計者以外は記入不要	収入		支出	
	家族から	千円	住居費(自宅外のみ)	千円
支援者からの援助	千円	光熱水道代(自宅外のみ)	千円	
自分の預貯金	千円	食費	千円	
定職から		独立生計者のみ 記入すること!		
アルバイト				
奨学金			千円	
その他			千円	
		次学期授業料積立	千円	
			千円	
合計	千円	合計	千円	

収入合計額と支出合計額
が同額になるよう記入して
ください。

5. 申請の理由(申請するに至った家庭事情やその他特に説明を要する事情を具体的に記入してください。)

全員 必ず記入すること

記入がない場合や、免除が必要と判断できない内容の場合、授業料免除を受けられない場合があります。

主たる学資負担者が無職・失職中の場合、記入必要

・主たる学資負担者が無職・失職中の場合

その年月日(年 月 日) 生活費の出所()

就業見込 有 ・ 無

雇用保険による失業等給付の支給については、

・支給を受けていない

・受給中 (年 月 日まで)

受給終了 (年 月 日まで)